

脳神経科学研究における AI・ビッグデータ取り扱いの倫理 ～問題となる「自律性」の種別とその対応～（永石尚也先生）へのコメント

武田英明（国立情報学研究所）

2023年6月26日

1. 現状の科学技術の立ち位置

- （計測）計測技術は、精神的活動を含めてすでに脳の活動をかなり露わにしている。
 - 倫理的課題：データに基づく評価の倫理性
 - ◇ 精神・意識状態特定、逸脱的性的欲求測定、リスクアセスメント、責任無能力の判断
- （介入）脳の活動への介入の様々なことが可能になっている。
 - 治療、エンハンスメント、操作
 - 治療行為 ←--→ 予防行為
 - 倫理的課題：介入行為の倫理性

2. 人間の定義への挑戦（「改訂」）

- Humanity とは何か
 - 責任（自由意志）の再考、若年者の脳状態からの行為者性への疑義
 - 若年齢、加齢の humanity（人のボーダーはどこに？）
- “[人の能力]とされてきたものを、[脳の機能]で代替させようという試み”
 - [脳の機能] -> [“計測・介入可能”な脳の機能] -> [“現在、計測・介入可能”な脳の機能]
- “近代法の基底的な諸概念を掘り崩す「改訂」”
 - 計測と介入
- 他の挑戦
 - cf. 技術と一体化する人（フェルベーク）